

小川修史准教授とゼミ生の「ミライの制服プロジェクト」がNHKで放送されます（5/24,5/25放送）

生活・健康・情報系教育コース小川修史准教授とゼミ生が、共同開発者の一般社団法人日本障がい者ファッション協会とともに研究を行う「ミライの制服プロジェクト」（感覚過敏や着脱に困難さがある人もストレスなく着れて、かつオシャレな制服を開発）がNHKで放送されます。ぜひご覧ください。

【放送日】

令和3年5月24日（月）NHK「LiveLoveひょうご」（兵庫県下）18:30～19:00

令和3年5月25日（火）NHK「ぐるっと関西おひるまえ」（関西全域）11:30～11:54



附属図書館で取材を受けたときの様子

インクルーシブ教育（外国人児童・生徒への対応）

兵庫教育大学・神戸市教育委員会 共同研究 年少者向け初期日本語学習用動画

語彙動画

「日本語学習用動画」作成基本方針

以下の2部構成で、各3分前後の日本語学習用動画48本（各24本）を作成

I. シナリオ動画（「サバイバル日本語中心」だが「日本語基礎」も一部含む）

II. 語彙動画

1. 子どもの言語習得は、子ども自身の意欲・動機にもとづくことが大前提。それを最大限に促せるものとするよう留意する。
2. 各動画にはタイトルコールを付ける。タイトルは振り仮名付きの漢字で表す。動画ではBGMを活用する。
3. 動画の欄外に各言語での訳や説明があればよいが、その際の言語は、中国語（簡体字）、英語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語で、それ以外は随時追加する。
4. 登場人物の性別による属性や行動、趣向などが、ジェンダーバイアスを助長するものにならないよう配慮する（校長→女性、保健の先生→男性、体育の先生→女性、保護者→男性にする、サッカーをする子どもに女子もいるようにする、など）
5. 文字のフォントや色使いは、ユニバーサルデザインに配慮したものをを用いる。用いるフォントは異なってもよいが、「さ」のようにフォントによって字形が異なるものは用いない。
6. 各動画には、学習項目や場面のタグ、関連する他の動画へのリンクを付ける。
7. 動画を独立した教材としてではなく、日本語指導担当者にとっても、対面・オンライン問わず、指導に組み込んで活用できるものを想定して作る。



サバイバル日本語

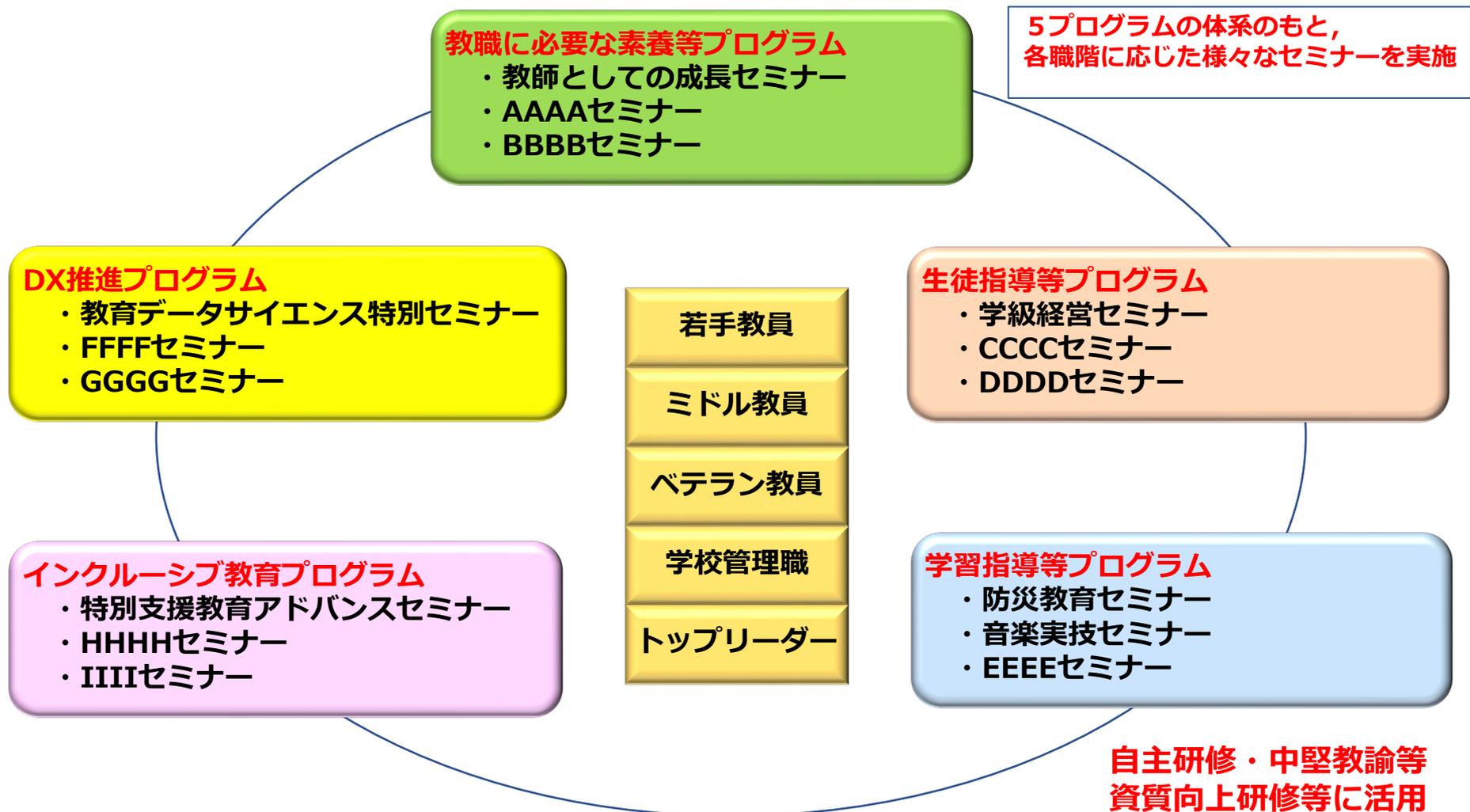
- 日本語がまったくわからない段階から、日常生活・学校生活を送る上でさしあたって必要になる語彙や表現を場面とともに学び、行動できるようになることを目指す内容（『外国人児童生徒受入れの手引き』p.28より）
 - A) 健康で衛生的な生活を送る（トイレ、給食、体調、衛生）例「先生、トイレいいですか」「お腹痛いです」「これ、食べられない」
 - B) 安全な生活を送る（交通安全）例「気をつけて」「危ない」「信号／赤・青・黄」
 - C) 周囲の仲間との関係をつくる（自己紹介、あいさつ、休み時間、物の貸し借り）例「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめん」「これ貸して」
 - D) 学校生活を円滑に送る（教科名、教室移動、勉強道具、授業の準備、清掃）例「国語／算数（数学）／社会…」「教室／職員室／運動場に行こう」「次、何の授業？」

日本語基礎

- 日常会話では身につかない整った文での日本語を四技能で身につけ、教科学習につなげるための、日本語の基礎となる文字・表記、発音、語彙、文型の学習内容（『外国人児童生徒受入れの手引き』p.28～より）
 - A) 文字・表記、発音、語彙（これらはなるべく区別せず一体で扱う）例 平仮名・片仮名、特殊拍（長音・拗音・促音・撥音）例 名詞（色、動物、数、数量詞、日付・曜日・時間、方向）、動詞（起きます・食べます・行きます）、形容詞（あつい・さむい、たのしい）
 - B) 文型 例「教室用語（起立・気をつけ・礼、立って・座って・書いて・見て）」「同じ・違う」「いる・いない」「～ている」「～ですか／ますか」

現職教員研修の体系化

ナショナルプログラム（全国の教職員対象研修プログラム）



「教育データサイエンス特別セミナー」 (ナショナルプログラム)

第1回教育データサイエンス特別セミナーを開催しました

8月1日(日)、第1回教育データサイエンス特別セミナーを開催しました。

本セミナーは、GIGAスクール構想が急速に進められる中、教育データサイエンスが目玉されており、教育に関するデータを適切に用いてエビデンスに基づいた教育実践が行える教員の養成を目的に、現職教員を対象に、教育データサイエンスに関するナショナルプログラム「初めての教育データサイエンス-超入門-」として、8月1日及び20日の2日間におたり実施するものです。

セミナーはZoomによるオンラインで開催され、全国各県から現職教員58名が参加しました。

第1回は「教育データサイエンスはじめ」と題し、「教育データサイエンスとは」、「教育におけるデータの活用(記述統計の基礎)」、「教育におけるAIの活用」をテーマに講演が行われました。

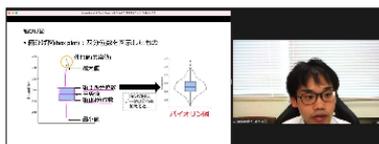
第2回は、8月20日(金)に開催予定です。



吉水裕也教員養成・研修高度化センター長による開会挨拶



森山 毅教授による「教育データサイエンスとは」



滝水 優菜助教による「教育におけるデータの活用(記述統計の基礎)」



引川 淳一教授による「教育におけるAIの活用」

第2回教育データサイエンス特別セミナーを開催しました

8月20日(金)、第2回教育データサイエンス特別セミナーを開催しました。

本セミナーは、GIGAスクール構想が急速に進められる中、教育データサイエンスが注目されており、教育に関するデータを適切に用いてエビデンスに基づいた教育実践が行える教員の養成を目的に、現職教員を対象に、教育データサイエンスに関するナショナルプログラム「初めての教育データサイエンス-超入門-」として、8月1日及び20日の2日間におたり実施したものです。

第2回となる今回は、「教育におけるデータの活用と可能性」と題し、「推測統計の考え方」、「教育データの読み取り方」、「教育データサイエンスの可能性」をテーマに目玉ゲストを迎えながら講演が行われました。

セミナーはZoomによるオンラインで開催され、全国各県から現職教員44名が参加しました。受講者からは、「図表や例を添えて分かりやすく説明していただいた」「学校におけるアンケートや担当データの取扱いについてのヒントを得られた」などの感想があり、好評を博しました。



吉水裕也教員養成・研修高度化センター長による開会挨拶



森山 毅教授による「推測統計の考え方」



滝水 優菜助教による「教育データの読み取り方」



引川 淳一教授による「教育データサイエンスの可能性」

これまで開催したSociety5.0研修会の概要は次のサイトでご確認ください。

教員養成・研修高度化センター

<https://www.avopg-u.ac.jp/faculty/create/>

2022年度入学生から、「AI・データサイエンス基礎」、「教育データサイエンス」の2科目を開設するため、授業計画等作成 **その試行実践**

学部「教養ゼミ」における「STEAM教育演習Ⅰ」の試行実践

実践1 SDGsをテーマとした探究的なSTEAM教育

本実践では、SDGsの17のゴールの中から、各学生が興味を持った内容について探究し、実生活の問題解決に取り組む。授業は、スタンフォード大学のデザイン思考の5つのプロセス（共感、問題定義、創造、プロトタイプ、テスト）に即して進める。科学、芸術、教育工学を専門とする3人の教員がチームティーチングによりファシリテートし、学生が主体的に取り組めるようサポートする。



(上)学生による報告とディスカッション

(右)スタンフォード大学のデザイン思考のプロセス

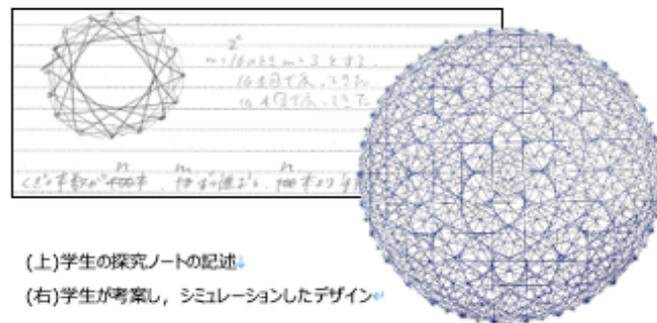
Interaction Design Foundationより引用



←

実践2 「糸掛けアート」を核に自ら「問い」を深めるSTEAM教育

本題材は、数学と美術に共通する「美しさ」に着目したものである。学生は、糸巻アートの持つ数学的なルールを、コンピュータによるプログラミングとシミュレーションを用いて探究し、オリジナルなデザインを設計し実際に加工・製作する。最後は、外部講師の講話をきっかけに、社会におけるデザインの知的財産権保護の在り方についても考える。

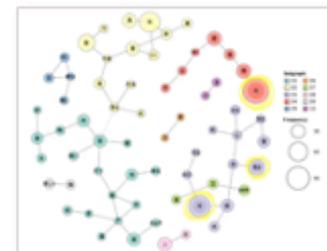


(上)学生の探究ノートの記述

(右)学生が考案し、シミュレーションしたデザイン

実践3 テキストマイニングで文学作品の特徴を探究するSTEAM教育

本題材は、テキストマイニング技術を用いて、松尾芭蕉や小林一茶の俳句の特徴を分析するものである。学生は、松尾芭蕉や小林一茶の俳句に関する資料を調べ、俳句の特徴について仮説を立てる。その後、テキストマイニングを用いて自身の立てた仮説を検証する。



(左)学生によるテキストマイニングの結果

(下)テキストの特徴に対する学生の仮説

②弱いものに対して愛情深い

などの小さな生き物や草、花などの鳥、子どもに関する作

・具体例
雀の子そこのけそこのけお鳥が渡る（おらが重）
朝の雪へおつねしておく子猫（七喜日記）
春霞や雲におどり（名）をしへる子（八喜日記）

←

intel STEAM Lab実証研究校募集事業 採択決定

TEX program



**附属学校園を
フィールドとした
教育実習で
STEAM教育を展開**

intel STEAM Lab @
 HUTE
 co-learning space
 山国分室

附属中学校
 クロスカリキュラム
 で実現するSTEAM教育
附属小学校
 未来を築く力を育む
 STEAM教育
附属幼稚園
 遊びの充実
 ティンカリング

2023～
 学部・大学院
 新科目スタート

学部：教職課程の授業へ
 大学院：共通5領域の授業
 学校教育研究科(教職大学院)

STEAM教育発展論

学校教育学部
 STEAM教育演習Ⅱ

学校教育学部
 STEAM教育演習Ⅰ

学校教育学部
 STEAM教育概論

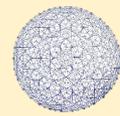


2022

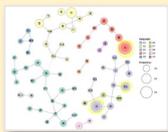
学校教育学部
 教養ゼミ 1



学校教育学部
 教養ゼミ 2



学校教育学部
 教養ゼミ 3



2021～
 学部
 STEAM教育演
 習試行授業

附属学校園
 STEAM
 教育実践

2022～
 地域活動用
 研修教材
 パッケージ
 開発

引き込み型へ

教員研修

学校教員対象
 プログラミング教育
 ICT活用教育に関する研修



STEAM教育をテーマとした
 地域活動用の研修教材パッケージ開発

**intel STEAM Lab @ HUTE
 co-learning space**

「出張型」活動から
 「引き込み型」活動へ
 学部学生の参加による
 臨床経験の提供

地域活動

小学生対象
 プログラミング
 ロボット教室



2021
 地域活動
 教員研修

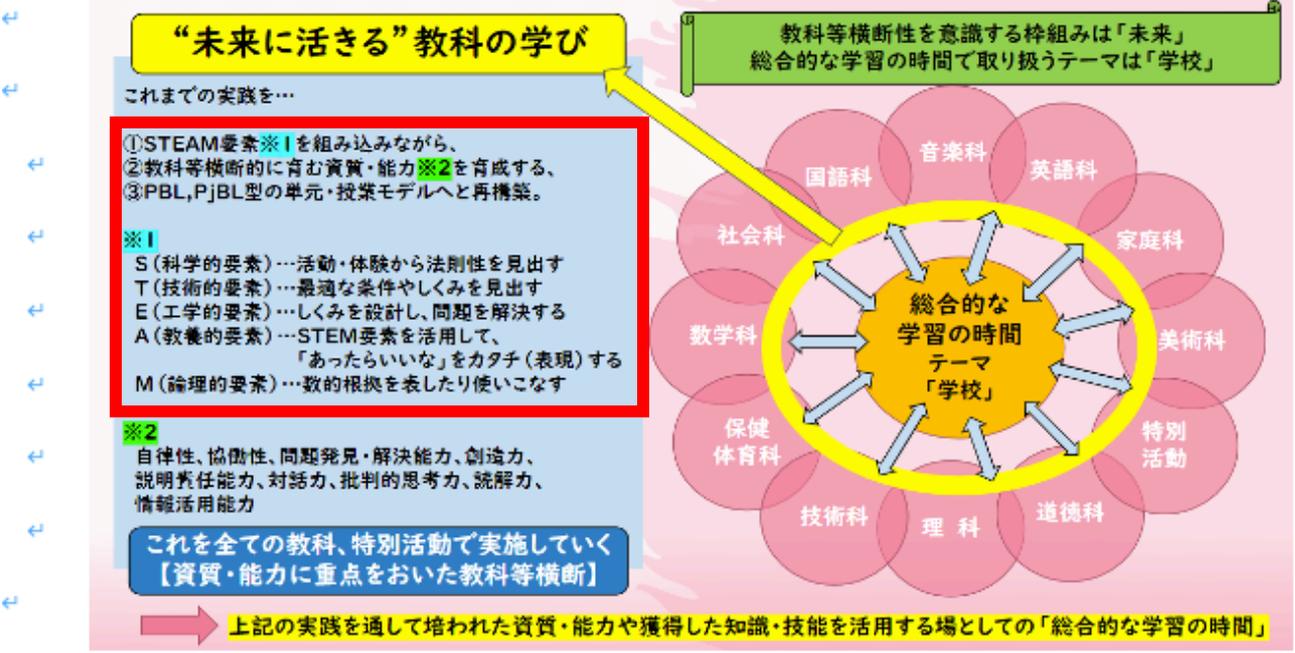
修了生と連携した
 3D-CAD &
 プリンター
 ワークショップ



実地教育Ⅲ（附属小学校での教育実習）で、全学生がGIGA端末活用を体験

● 附属中学校：クロスカリキュラムで実現する STEAM 教育～「未来の学校プロジェクト」～

附属中学校では、各教科の学びと「総合的な学習の時間」との横断的な連携をクロスカリキュラムで実現する実践を展開している。まず、各教科の授業デザインでは、その教科の内容や方法、学び方等が、社会の STEAM 課題とどのように関わっているのかを意識させる手立て(STEAM 要素)を組み込んでいる。その際、interdisciplinary にカリキュラムの連携を図るため、各教科での学びの横串として、自律性、協働性、問題発見・解決力、創造力等の資質・能力を横断的に育成する。その上で、「未来」×「学校」をテーマに、「総合的な学習の時間」における STEAM 探究をプロジェクト基盤学習(Project-Based-Learning)として展開していく。このように、STEAM 探究をコアに、教科の学びと社会との関わりを生徒自らが意識し、それらを総合して、生活や社会の問題を創造的に解決していく点に、本実践の特徴がある。



国立大学法人
兵庫教育大学附属中学校

2021(令和3)年度
研究協議会のご案内(第1次)

本校は総合を主軸とした教科等横断的な学び(クロスカリキュラム)の研究に着手し始めて4年目となり、まず生徒一人一台端末の活用、STEAM教育の実践をこれまでの研究と結びつけながら、これからの教育の在り方を生徒教師共に探究し続けていきます。

2021.12.18(土)
完全オンライン実施(ZOOM)
総合を主軸とした教科等横断的な学びとSTEAM教育の実践
～未来を切り拓き、生き抜く資質・能力の育成～

授業動画視聴(事前公開)+教科別研究協議会
実務教科(国、社、数、理、英、保健、美、音、教、家、道、総)
探究総合(ミラノの学校プロジェクト)
生徒による成果発表会

～問い合わせ先～
兵庫教育大学附属中学校 研究部主任 藤香 竜也(りゅうたつや)
〒673-1421 兵庫県加東市山国2007-109
☎ 電話 0795-40-2222 FAX 0795-40-2225
E-mail: majihs@hyogo-u.ac.jp 藤香
https://www.hyogo-u.ac.jp/middle/ 学校 HP

加西市教育委員会と連携・協働してSTEAM教育推進に取り組みます

11月23日（火）、加西市地域交流センターで開催された加西市教育委員会主催のイベント「[『STEAM Fes.inKASAI Vol.1 『ONEDAY STEAM』 第1回一日だけの加西STEAMまつり』](#)」に、吉水裕也理事・副学長、永田智子教員養成・研修高度化センター 先端教育研究開発コアディレクター及び森山潤学長特別補佐（教育研究DX推進担当）が参加しました。

このイベントは、加西市教育委員会がSTEAM教育の取組として初めて全市的に行ったもので、加西市内の親子29組が参加し、基調講演「加西STEAM宣言」、5つのSTEAM体験ブースでの体験、西在田小学校6年生による実践発表が行われました。

イベントの最後に、民輪めぐみ教育長から、加西市においてSTEAM教育に取り組んでいくこと、加西市の教育の未来について展望が述べられた後、吉水理事・副学長から、本学ではSTEAM教育を実践できる教員を養成するとともに、STEAM教育において今後具体的に連携を深めていきたいと、それぞれ抱負が語られました。そして、本学と加西市との包括協定に基づき、STEAM教育の推進に向け、さらなる連携・協働が表明されました。



「STEAM Fes.inKASAI」に参加する吉水理事・副学長、永田先端教育研究開発コアディレクター、森山学長特別補佐（教育研究DX推進担当）（画面右奥）



STEAM教育における連携を表明する民輪加西市教育長と吉水理事・副学長

2020年度 第1回Society5.0×Teacher Education研究会・FDサロン オンライン授業の先に何を見るか



石井英真氏 (京都大学大学院教育学研究科准教授) による講演の様子

2020年度 第2回Society5.0×Teacher Education研究会・FDサロン アクティブ・ラーニングを問い直す —オンライン授業におけるアクティブ・ラーニングの課題と可能性—



白水 (しろうず) 始氏による講演の様子

2021年度 第7回 CReATE Seminar 【Society5.0×Teacher Education 研究会 (第1回)】・ FDサロン 教師教育と省察的実践



松木健一氏 (福井大学理事・副学長) による講演の様子

阪神間（神戸市）での研究開発拠点整備

2023年10月 神戸キャンパスを移転・大幅拡充（兵庫県との連携事業）

（現在）1,700㎡ ⇒ （移転後）3,600㎡

- 「先端教職課程カリキュラム開発センター神戸オフィス」を設置
兵庫県・神戸市教育委員会、民間企業等連携機関とのHUB機能を整備

- Society5.0時代の教師のリカレント教育を推進するためのラボを整備

Society5.0 × Teacher Education

デジタル × STEAM lab

デザイン思考.lab

- 神戸市の地域課題にも連携して対応 ⇒ 外国人児童生徒への対応等インクルーシブ教育の推進



入居予定の兵庫県の建物のイメージパース

自律した学習者を育てる教師の養成プログラム **TEX** Teacher Education program for the Transformation

—アジャイル型手法を導入したカリキュラム開発—

(1) 先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発

① 新・教員養成スタンダードの策定

新・スタンダードの項目に即したテーマ設定で教職科目体系を精緻化+フレキシブルな改善システム

新・兵庫教育大学教員養成スタンダード

- ▶ e-ポートフォリオや資質・能力ごとの GPA による可視化システム

② 先導的・革新的教職科目の開発

- テーマ1 学習者中心のデザイン、ファシリテーターとしての教師の役割、インクルーシブ教育
- テーマ2 EdTech、教育データの利活用および STEAM 教育
- テーマ3 教師の連携・協働による教育体制の構築のための教育
- テーマ4 教職大学院共通5領域に加える新たな領域科目の開発とその汎用化

(2) 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

- ▶ アジャイル型手法とリンクした社会的インパクト評価ツールの開発
- ▶ 全国ネットワークによる成果発信 (教員養成スタンダード・カリキュラム・FD)

(3) 取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

- ▶ 5年一貫による教員養成など教員養成の制度改革への貢献
- ▶ 教育大学(学部)における専門職養成機能の強化

学生

- ▶ 学習者観・学習観の転換
- ▶ インクルーシブ教育の理解
- ▶ EdTechが活用できる
- ▶ 教育データが活用できる
- ▶ 教員採用試験受験率の向上



新任教師

- ▶ 学習者中心の授業ができる
- ▶ インクルーシブ教育が実践できる
- ▶ EdTechが活用できる
- ▶ 教育データに関する実務ができる
- ▶ STEAM教育が実践できる



自律した学習者を育てる教師

- ▶ 児童・生徒の認知・非認知能力の向上を支援する教師
- ▶ カリキュラム・マネジメントを通して授業や学級経営を改善する教師
- ▶ 連携・協働の中核を担う教師
- ▶ フレキシブルに学び続ける教師



兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

民間企業 13社

- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ 社会的インパクト評価ツール開発 など

Global Language Institute
 Google intel LITALICO
 MM総研 アワーズ キャリアリンク
 錦城護謨 神戸新聞社
 ダイワボウ情報システム 東京書籍
 本郷さくら総合法律事務所 リクルート
(※ アルファベット・五十音順)

大学 8大学

- ▶ めざす教師像
- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ 5年一貫教育

上越教育大学 滋賀大学
 岡山大学 鳴門教育大学
 放送大学 立命館大学
 芸術文化観光専門職大学

教員研修機関 2機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発

教職員支援機構 兵庫県立教育研修所

教育委員会・学校 6機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ STEAM教育

兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会
 堺市教育委員会 加西市教育委員会
 南あわじ市教育委員会
 兵庫県立豊岡高校

国立大学法人 兵庫教育大学

先端教職課程カリキュラム開発センター (新設)

Center for Curriculum Redesign ※2022年度概算要求

- アジャイル型手法によるカリキュラム開発 ■

4部門で構成 (専任・兼任合わせ20人の教員を配置予定)

- ▶ 教育データサイエンス部門
- ▶ 先端教職科目開発部門
- ▶ 教職課程改善システム構築部門
- ▶ 教員養成ネットワーク構築部門

2022年度以降は現職教員研修(採用・研修機能)に特化

教員養成・研修高度化センター

社会教育施設 1施設

- ▶ STEAM教育

篠山チルドレンズミュージアム

全国教育長・学校長協議会等 6団体

- ▶ 教職科目体系見直し など

全国都道府県教育長協議会
 全国都市教育長協議会
 全国町村教育長会
 全国連合小学校長会 全日本中学校長会
 全国高等学校長協会

教員養成フラッグシップ大学推進委員会

中央教育審議会

2. 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

先端教職課程カリキュラムの全国展開

民間企業等	主な連携内容
神戸新聞社	AI・データサイエンス、EdTech活用、STEAM教育に関する科目開発・運用・改善
篠山チルドレンズミュージアム クロスアポイントメント	
ダイワボウ情報システム	
東京書籍 クロスアポイントメント	
リクルート	
Google	
intel	
Global Language Institute	
MM総研	
キャリアリンク	
アワーズ	教師の連携・協働、インクルーシブ教育等に関する科目開発・運用・改善
錦城護謨	
本郷さくら総合法律事務所 クロスアポイントメント	
LITALICO	

教育委員会等	主な連携内容
教職員支援機構	教員の育成に関する目標の策定、教職科目の体系検討、学習者中心の学びのデザイン、ファシリテーターとしての教師の役割に関する目標の策定、教職科目の体系検討
兵庫県教育委員会 人事交流	教員の育成に関する目標の策定、教職科目の体系検討、5年一貫による教員養成
神戸市教育委員会	教員の育成に関する目標の策定、教職科目の体系検討、5年一貫による教員養成
南あわじ市教育委員会	防災教育に関する科目開発・運用・改善
加西市教育委員会	STEAM教育に関する科目開発・運用・改善
兵庫県立豊岡高等学校	
堺市教育委員会 特別教授	教師の資質、教職科目の体系検討



大学等	主な連携内容
滋賀大学	EdTech、教育データの利活用、およびSTEAM教育に関する科目開発・運用・改善
鳴門教育大学	
上越教育大学	インクルーシブ教育に関する科目開発・運用・改善
岡山大学	
立命館大学教職研究科	教職大学院科目、5年一貫による教員養成
放送大学	EdTech、教育データの利活用等、成果の普及
芸術文化観光専門職大学	ファシリテーション及びSTEAM教育に関する科目開発・運用・改善

校長会等	主な連携内容
全国連合小学校長会	教職科目の体系見直し
全日本中学校長会	
全国高等学校長協会	
全国都道府県教育長協議会	
全国都市教育長協議会	
全国町村教育長会	

社会的インパクト評価のためのロジックモデル（仮案）

活動	アウトプット	直接アウトカム	中間アウトカム	最終アウトカム
1-① 望ましい資質目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・新・教員養成スタンダード策定 ・eポートフォリオ運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の枠組み設定 ・自律した学修者の養成 ・学生の資質・能力の見える化 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の資質・能力のメタ認知による教員就職意欲向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・自律した学習者を育てる教師の増加
1-② 授業科目開発	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムポリシー改訂 ・開発科目群、科目数、科目内容 ・実装科目群、科目数、科目内容、受講者数、単位取得状況、成績分布 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の資質向上（学習者観・学習観の転換、ファシリテーション力の獲得、インクルーシブ教育実践力の獲得、デジタル教科書、校務システムの活用力の獲得、教育データ分析力の獲得、STEAM教育指導力の獲得、非認知的能力の向上） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指導力向上（自律し協働する学習者を育成しようとする教師、ファシリテーション力の向上、インクルーシブ教育実践力の向上、デジタル教科書、校務システムの活用力の向上、教育データ分析力の向上、STEAM教育指導力の向上、非認知的能力の向上） 	<ul style="list-style-type: none"> ・価値共創できる教師の増加 ・児童・生徒の認知的能力向上を支援する教師の増加 ・児童・生徒の非認知的能力向上を支援する教師の増加
2-① コンソーシアムによる研究・開発、実装、評価	<ul style="list-style-type: none"> ・設置（連携機関数）、会議回数 ・教員養成の多様なステークホルダーの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・連環型システムによる評価 ・アジャイル型手法による社会的ニーズを先取りした教職課程カリキュラムの開発、実装 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジャイル型手法による社会的ニーズを先取りした教職課程カリキュラムの評価、改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職課程カリキュラムの質向上 ・連環型評価システムの質向上
2-② 教職協働、学生参画FD	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会年10回、連携研究会年2回 ・参加教員・学生数 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加教員・学生数の増加 ・教職協働、学生参画FDの全国展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学教員の学習者観の転換 	<ul style="list-style-type: none"> ・転換された学習者観に基づく授業実践の増加
3 教職課程の制度改善への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成フラッグシップ大学推進委員会への参加 ・5年一貫による教員養成制度のモデル策定 ・教育学部（学科）アドバンスト科目の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成フラッグシップ大学推進委員会との協働による事業内容の機動的な評価・改善 ・5年一貫制による教員養成制度の導入 ・教育学部（学科）カリキュラム高度化 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成フラッグシップ大学推進委員会との協働による事業内容の機動的な評価・改善 ・教員就職希望者の増加 ・教師の指導力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の資質・能力の向上 ・学校教育力の向上

自律した学習者を育てる教師の養成プログラム **TEX** Teacher Education program for the Transformation

－アジャイル型手法を導入したカリキュラム開発－

(1) 先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発

① 新・教員養成スタンダードの策定

新・スタンダードの項目に即したテーマ設定で教職科目体系を精緻化＋フレキシブルな改善システム

新・兵庫教育大学教員養成スタンダード

- ▶ e-ポートフォリオや資質・能力ごとの GPA による可視化システム

② 先導的・革新的教職科目の開発

- テーマ1 学習者中心のデザイン、ファシリテーターとしての教師の役割、インクルーシブ教育
- テーマ2 EdTech、教育データの利活用および STEAM 教育
- テーマ3 教師の連携・協働による教育体制の構築のための教育
- テーマ4 教職大学院共通5領域に加える新たな領域科目の開発とその汎用化

(2) 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

- ▶ アジャイル型手法とリンクした社会的インパクト評価ツールの開発
- ▶ 全国ネットワークによる成果発信 (教員養成スタンダード・カリキュラム・FD)

(3) 取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

- ▶ 5年一貫による教員養成など教員養成の制度改革への貢献
- ▶ 教育大学(学部)における専門職養成機能の強化

学生

- ▶ 学習者観・学習観の転換
- ▶ インクルーシブ教育の理解
- ▶ EdTechが活用できる
- ▶ 教育データが活用できる
- ▶ 教員採用試験受験率の向上



新任教師

- ▶ 学習者中心の授業ができる
- ▶ インクルーシブ教育が実践できる
- ▶ EdTechが活用できる
- ▶ 教育データに関する実務ができる
- ▶ STEAM教育が実践できる

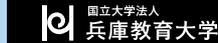


自律した学習者を育てる教師

- ▶ 児童・生徒の認知・非認知能力の向上を支援する教師
- ▶ カリキュラム・マネジメントを通して授業や学級経営を改善する教師
- ▶ 連携・協働の中核を担う教師
- ▶ フレキシブルに学び続ける教師



兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム



先端教職課程カリキュラム開発センター(新設)

Center for Curriculum Redesign ※2022年度概算要求

■ アジャイル型手法によるカリキュラム開発 ■

- 4部門で構成 (専任・兼任合わせ20人の教員を配置予定)
- ▶ 教育データサイエンス部門
- ▶ 先端教職科目開発部門
- ▶ 教職課程改善システム構築部門
- ▶ 教員養成ネットワーク構築部門

教員養成・研修高度化センター

2022年度以降は現職教員研修(採用・研修機能)に特化

民間企業

13社

- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ 社会的インパクト評価ツール開発 など

Global Language Institute
 Google intel LITALICO
 MM総研 アワーズ キャリアリンク
 錦城護謨 神戸新聞社
 ダイワボウ情報システム 東京書籍
 本郷さくら総合法律事務所 リクルート
 (※ アルファベット・五十音順)



大学

8大学

- ▶ めざす教師像
- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発
- ▶ 5年一貫教育

上越教育大学 滋賀大学
 岡山大学 鳴門教育大学
 放送大学 立命館大学
 芸術文化観光専門職大学



教育委員会・学校

6機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ STEAM教育

兵庫教育委員会 神戸市教育委員会
 堺市教育委員会 加西市教育委員会
 南あわじ市教育委員会
 兵庫県立豊岡高校



教員研修機関

2機関

- ▶ めざす教師像
- ▶ 先導的・革新的な教職科目開発

教職員支援機構 兵庫県立教育研修所



社会教育施設

1施設

- ▶ STEAM教育

篠山チルドレンズミュージアム



全国教育長・学校長協議会等

6団体

- ▶ 教職科目体系見直し など
- 全国都道府県教育長協議会
- 全国都市教育長協議会
- 全国町村教育長会
- 全国連合小学校長会 全日本中学校長会
- 全国高等学校長協会

教員養成フラッグシップ大学推進委員会



中央教育審議会

(3) 取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

文部科学省や教員養成フラッグシップ大学推進委員会と連携して、TEXプログラムの成果を広く普及させる取組を行うとともに、以下の教職課程に関する制度改善に結びつける。

▶ 5年一貫による教員養成など教員養成の制度改革への貢献

(学部から教職大学院への接続による教員養成の高度化)

早期卒業制度等を活用して連携教職大学院に入学する5年一貫教員養成のルート(3+2)を設ける。その際、必ずしも5年間を一大学で学ぶ必要はなく、連携した大学の教職大学院への進学ルートを開く。なお、4年制による教員養成も維持することによって、教員の確保も担保する。

▶ 教育大学(学部)における専門職養成機能の強化

(教員養成大学(学部)における専門職養成機能の一層の強化)

教員養成フラッグシップ大学特例措置22単位(小学校)以外に、教員養成大学(学部)については教職アドバンスト科目15単位程度を開設し、「自律した学修者」としての教師の学びに関するマネジメント力の育成を図る。さらに、教員免許制度改革を視野に入れた教職科目体系の研究を行う。